

石畳植生ブロック



施工例

擁壁類

管渠類

側溝類

道路関連

河川関連

標準敷設図

貯水槽関連

その他

景観関連

基本形状図

形状・寸法
重量表

適度の植生で維持管理がしやすく、土の流失を防ぐ構造を持ったブロックです。

●特長

1.維持管理が少なくすむ

維持管理の少なくすむ、適度な植生を形成できるよう、製品内部に水分や養分の補給孔を設けました。またブロックの組合せで程よい間隙がつかれる形状になっています。

2.強固な法面を形成

製品の組合せに配慮した、縦横線の通らない形状で、雨水等での客土流出が少なく、かつ強固な法面を形成できます。

3.法面の確実な緑化が可能

石肌模様と適度な植生によって、自然景観を重視した張りブロックで、より多自然型指向を高めています。

4.カーブや法面の起伏に対応

連結部をシャックルによりフレキシブル構造としているため、カーブや法面の起伏に充分対応できます。

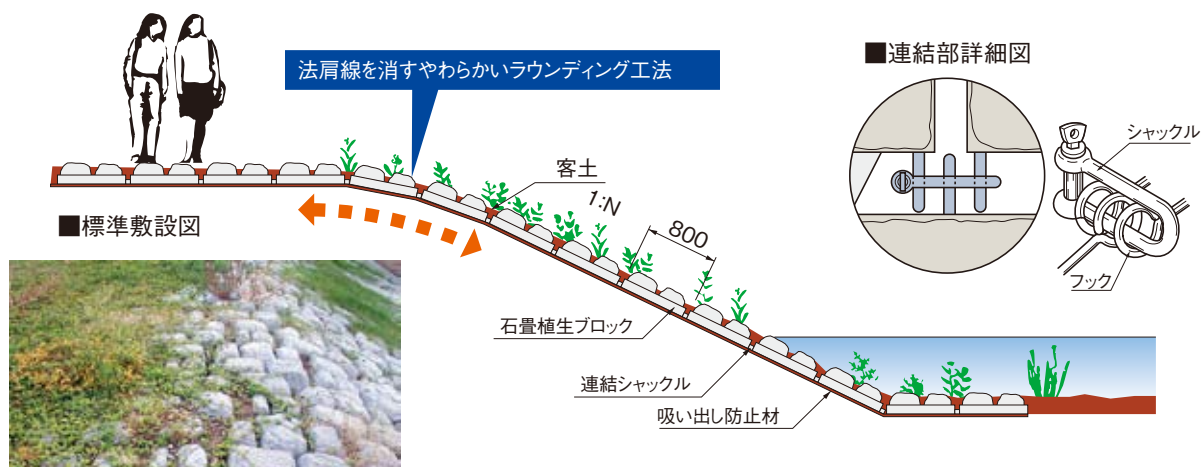
5.花等の植生ポットに対応

周辺環境に応じて、2通りの組合せができ、特にCASE-2は低木、花等の植生ポケットを設けることができます。

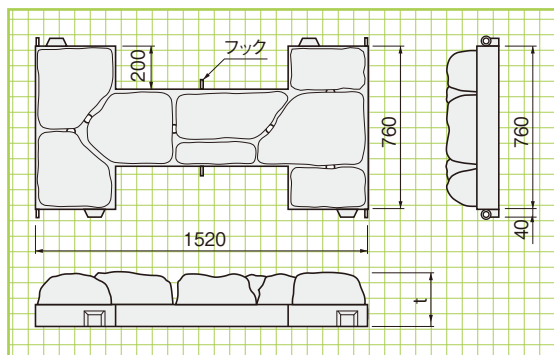


■用途

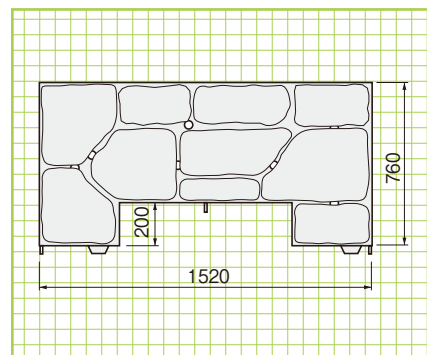
- 1.多自然型護岸の法面・小段、河川の護床工
- 2.遊水池の護岸、道路・公園の法面工事



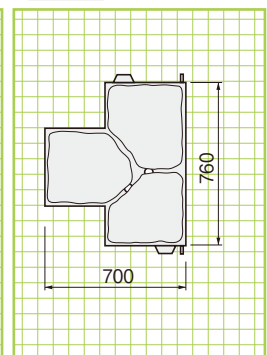
一般部用



天端・最下段用



端部用



■石畳植生ブロック寸法、重量表

呼 称	t (最大値)	参考重量		
		一般部用	天端・最下段用	端部用
Ⅱ型	240	370	435	170
Ⅲ型	350	560	645	270